



新年あけましておめでとうございます。
昨年中は格別のお引き立てを賜り心よりお礼申し上げます。
本年も何卒よろしくお願い申し上げます。



【募集】ものづくりインキュベーションセンター 入居者

新製品の開発や新技術創出の場として、多くの企業にご利用いただいておりますインキュベーションセンターについて、下記の通り入居者を募集いたします。

支援室No.	階	支援室タイプ	面積	使用料金	申込期間
8	2階	事務室タイプ	15.0㎡	月額23,700円	1月14日(金)まで

※申請書を提出される前に事前にご相談



Connect2021 in 郡山 開催報告

11月27日(土)、28日(日)に郡山市民交流プラザ大会議室(ビッグアイ7F)を会場に2日間にわたり、Connect 2021 in Koriyama, with UDC(ハッカソン)を開催し、6チーム、審査員を含め41名が参加しました。オープニングセミナー(マイクロソフト 畠山氏)、アプリ開発、作品発表、審査表彰を行い、郡山市長賞は「EAT A!!(イートオール)」(株エフコム)が受賞しました。



第3回 DXセミナー 開催報告

第3回 DXセミナーを12月15日(水)オンラインで開催し、26名が参加しました。

西会津町CDO(最高デジタル責任者)藤井靖史氏より「自治体や企業は、なぜDXが必要なのか」をテーマに、DXとはデータとデジタル技術を活用してユーザ視点に立ち、あなたの町や会社には「何のために？」があるか、また何のために道具(デジタル技術)を使うのかとわかりやすく講演しました。

参加者からの感想

- ・大変参考になりました。
- ・味噌汁に例えてご説明頂き、自分にとって身近で思考を変えるセミナーでとてもよかった
- ・未来を担う世代が動きやすいようにフォローするために、DXが必要という言葉に勇気づけられた。

第21回 産学官連携フォーラム 開催報告

日大工学部と当機構の共催事業「第21回産学官連携フォーラム」は、同大学構内にてウェビナー(WEBセミナー)形式で開催されました。

今年のテーマは「アフターコロナに向けたIT技術」とし、特に福島県情報産業協会にご協力を頂きました。

当機構平議員の伊藤清郷郡山商工会議所副会頭の開会挨拶及び趣旨説明で始まり、下記講師陣の講演の後、日大工学部研究委員会副委員長の中野和典教授をコーディネーターとし、登壇者全員によるパネルディスカッションが行われ、日大工学部工学研究所次長春木満教授の閉会挨拶で終了しました。

開催日時:12月6日(月)14:00~16:00

参加者:ウェビナー形式のため、会場でのリアル受講者約40名

講師と演題:(産) (一社)福島県情報産業協会 会長 鷲弘樹氏
「アフターコロナにおける地域戦略」

(学) 日本大学工学部情報工学科 教授 林隆史氏
「DXを支える情報基盤」

(官) 福島県企画調整部デジタル変革課 課長 渡辺春吉氏
「福島県におけるデジタル変革(DX)の推進について」



ものづくりインキュベーションセンター 入居者審査委員会 開催報告

11月24日(水)にインキュベーションセンター会議室において、入居者審査委員会を実施いたしました。入居延長1社、新規入居1社について、各企業様が事業内容を発表した後に審査員との質疑応答を実施しました。

厳正なる審査の結果、下記のとおりとなりました。

延長

支援室No.	企業名・代表者	研究開発内容	入居期間
7	株式会社ハンドレッド 代表取締役 栢本直之	実験種動物用器材の新製品及び攪拌装置の開発	令和3年12月1日～令和4年11月30日

新規

支援室No.	企業名・代表者	研究開発内容	入居期間
10	リンクエフ 代表 田村慎太郎	地中熱利用システム研究開発	令和4年2月1日～令和5年1月31日



【募集】 実用化開発補助金(イノベ補助金)

福島県産業振興課では、実用化開発補助金(イノベ補助金) <https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/jitsuyoka/>を来年度公募に向けて準備中ですが、応募を検討されている企業がありましたら、下記にご相談ください。

デロイト トーマツ コンサルティング合同会社(管理業務委託機関)

Tel:024-572-3352 Mail:dtc_f.jitsuyoka@tohmatu.co.jp

【コラム】 郡山テクノポリス地域単体的アライアンス形成会議会員企業から



郡山テクノポリス地域単体的
アライアンス形成会議
会長 大槻 努
(作田電機株式会社
代表取締役社長)

会社経営に重要なのは、経営の健全性を維持しながら、従業員の健康とウェルビーイングを考慮し、組織の重要性の根拠を個人の尊厳に求めながら、その権利と義務の発生原理を探求し続ける事だと考えています。利益の追求も大事ですし、再分配も重要ですが、研究開発などの先行投資も大変重要であり、それらをバランスよく推進していく為に、若手の意見に耳を傾ける事を疎かにしない様心掛けています。

気が付くとY世代(1980年生まれ)以降のデジタルネイティブ達が、パソコンやスマホを上手に利用しながら日常業務を効率よくこなす時代になっており、さらにディープラーニング発明後のAIが「働き方改革」に有効活用されている事実に驚きを隠せません。自分たちが子どものとき描いた未来は既に通り過ぎた過去の思い出の様に感じます。

これからの時代、どのように企業を経営して行くか、またどのような財産を次世代に残すべきかについては、次の時代に活躍する人達が決めるべきだと思っています。私達が作り込んできた生活や文化、ビジネススタイル等は、乱暴に標準化したり押し付けたりするものではなく、あくまで次世代が選択する選択肢の1つとして考えて欲しい。その上で幾つか選んでくれるのであれば、選ばれたことに深く感謝したいと思います。

アライアンス形成会議としては、将来の夢や小さな成功事例を持ち寄り、会員同士の多様性を大事にしながら塊り感を創出していきたいと考えています。製造業の会員企業が多い中で、皆さんの調整役として接着剤的役割を果たしていきたいですね。

